



平成31年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年7月30日

上場会社名 リケンテクノス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4220 URL <https://www.rikentechos.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 常盤 和明
 問合せ先責任者(役職名) 経理部長 (氏名) 高見 亮一 (TEL) 03-5297-1650
 四半期報告書提出予定日 平成30年8月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第1四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第1四半期	23,546	3.1	1,501	12.7	1,591	17.2	849	39.2
30年3月期第1四半期	22,831	7.3	1,331	0.2	1,357	16.7	610	60.1

(注) 包括利益 31年3月期第1四半期 Δ 9百万円(-%) 30年3月期第1四半期 891百万円(-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第1四半期	13.25	12.75
30年3月期第1四半期	10.52	9.17

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第1四半期	90,977	53,745	51.4
30年3月期	91,866	54,854	51.4

(参考) 自己資本 31年3月期第1四半期 46,781百万円 30年3月期 47,173百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	6.00	—	6.00	12.00
31年3月期	—	—	—	—	—
31年3月期(予想)	—	6.00	—	7.00	13.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	46,500	1.3	2,800	9.6	2,700	2.5	1,300	8.1	20.28
通期	100,000	5.7	6,300	16.7	6,100	12.7	2,900	14.3	45.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P.8「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

31年3月期1Q	66,113,819株	30年3月期	66,113,819株
31年3月期1Q	1,990,573株	30年3月期	2,005,873株
31年3月期1Q	64,114,021株	30年3月期1Q	58,035,849株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見直し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予測の前提となる条件及び業績予測のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当期四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出、生産活動に加えて、設備投資や個人消費などの民需も堅調に推移し、緩やかな回復傾向となりました。

海外では、米国経済は個人消費、民間設備投資が堅調で景気回復が続いております。欧州経済は内需を中心にゆるやかに回復しており、中国経済は、景気持ち直しの動きが続いております。

産業別には、国内の自動車業界は、各社の新型車発売の効果が一服し、微減となりました。建材業界においては、住宅着工件数の下げ止まりがみられ、家電業界においては省エネ・高付加価値製品が堅調に推移し、微増となりました。

このような環境の中、当社グループはグローバルな視点で顧客のニーズをきめ細かく確実に捉え、国内および海外の経営資源を効率的に活用して受注につなげることで業績の向上に努めました。

その結果、売上高は23,546百万円(前年同四半期連結累計期間比(以下「前年同期比」)3.1%増)、営業利益は1,501百万円(前年同期比12.7%増)、経常利益は1,591百万円(前年同期比17.2%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は849百万円(前年同期比39.2%増)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

[コンパウンド]

国内のコンパウンド事業のうち、塩ビコンパウンドは、建材市場では本格的な受注の回復にいたらずも、電線市場、自動車市場で堅調に推移し、増収となりました。エラストマーコンパウンドは、主力の自動車市場、電線市場で堅調に推移し、増収となりました。

海外においては、インドネシア国現地法人の電線市場、米国現地法人の電線市場、生活資材市場で低調に推移しましたが、中国現地法人における自動車市場、タイ国現地法人における自動車市場、医療市場で売上を伸ばしたことで、海外全体として増収となりました。

利益につきましてはグローバルで売上を伸ばし、製品価格の適正化もあり、増益となりました。

その結果、売上高は16,526百万円(前年同期比3.2%増)、セグメント利益は1,276百万円(前年同期比9.6%増)となりました。

[フィルム]

国内のフィルム事業のうち、建装材市場の住宅分野では、新築住宅着工件数は賃貸向けが低迷する一方でマンションおよび戸建て向けが堅調で全体として微増となり、増収となりました。住宅以外の分野では、首都圏を中心とした公共施設、オフィスビル、ホテル等の新築、リニューアル需要は堅調ながら、流通在庫の調整や人出不足による工期遅れもあり、減収となりました。広告メディア市場の売上は横ばいとなりました。

輸出は、建装材市場では、北米向けは堅調に推移し、中国向けは新規顧客の採用もあり好調でしたが、欧州向けは依然回復の兆しが見えず、全体として減収となりました。電線市場では、自動車用は日系顧客以外の新規採用もあり堅調に推移しましたが、民生用が減少し、売上は横ばいとなりました。光学分野では、受注を獲得した大型案件の量産化により増収となりました。

利益につきましては、光学分野の数量増加による生産性の改善が寄与し増益となりました。

その結果、売上高は3,582百万円(前年同期比5.8%増)、セグメント利益は129百万円(前年同期比977.7%増)となりました。

[食品包材]

国内の食品包材事業においては、食品スーパー向け業務用ラップで水産品の入荷不足等による需要の低迷があり、飲食店向け小巻ラップでは新規拡販が進んだものの既存顧客向けがふるわず微減となり、全体では減収となりました。

中国現地法人は、拡販が進み増収となりました。

利益につきましては、原材料価格の改定に伴う製品価格調整の遅れにより減益となりました。

その結果、売上高は2,453百万円(前年同期比2.7%減)、セグメント利益は102百万円(前年同期比47.8%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は90,977百万円(前連結会計年度末比888百万円減少)となりました。これは主に有形固定資産や投資有価証券が減少したこと等によります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債は37,232百万円(前連結会計年度末比220百万円増加)となりました。これは主に仕入債務が増加したこと等によります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は53,745百万円(前連結会計年度末比1,108百万円減少)となりました。これは非支配株主持分や為替換算調整勘定が減少したこと等によります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成30年5月1日の決算短信で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,790,082	14,876,087
受取手形及び売掛金	25,200,204	24,735,365
商品及び製品	6,343,924	6,971,949
仕掛品	650,566	725,104
原材料及び貯蔵品	5,195,751	5,248,900
その他	1,316,124	1,410,247
貸倒引当金	△112,531	△111,294
流動資産合計	53,384,121	53,856,361
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,804,889	9,461,354
機械装置及び運搬具(純額)	9,226,349	9,000,087
土地	6,458,132	6,407,282
リース資産(純額)	28,746	26,039
建設仮勘定	1,336,417	1,291,826
その他(純額)	741,278	703,199
有形固定資産合計	27,595,814	26,889,788
無形固定資産		
のれん	291,959	244,065
リース資産	11,995	10,996
その他	2,147,153	1,952,814
無形固定資産合計	2,451,107	2,207,875
投資その他の資産		
投資有価証券	6,571,580	6,188,285
長期貸付金	54,286	52,932
退職給付に係る資産	563,405	594,873
繰延税金資産	443,347	397,305
その他	806,311	794,016
貸倒引当金	△3,770	△3,770
投資その他の資産合計	8,435,162	8,023,642
固定資産合計	38,482,084	37,121,307
資産合計	91,866,206	90,977,668

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,727,414	17,814,896
短期借入金	6,490,266	6,701,052
1年内返済予定の長期借入金	443,906	385,099
リース債務	11,739	13,060
未払法人税等	569,420	629,926
賞与引当金	656,720	341,888
役員賞与引当金	70,422	26,017
その他	2,850,672	3,583,173
流動負債合計	28,820,563	29,495,113
固定負債		
社債	1,170,000	1,170,000
長期借入金	4,396,471	4,084,755
リース債務	29,452	24,405
繰延税金負債	1,021,590	882,262
役員株式給付引当金	93,575	117,403
退職給付に係る負債	1,116,690	1,093,763
資産除去債務	314,607	315,744
その他	49,054	48,897
固定負債合計	8,191,441	7,737,233
負債合計	37,012,004	37,232,346
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,514,018	8,514,018
資本剰余金	7,297,981	7,297,981
利益剰余金	28,937,991	29,393,990
自己株式	△828,559	△820,144
株主資本合計	43,921,432	44,385,846
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,219,427	2,952,240
為替換算調整勘定	442,192	△166,712
退職給付に係る調整累計額	△409,332	△390,051
その他の包括利益累計額合計	3,252,287	2,395,476
非支配株主持分	7,680,481	6,963,998
純資産合計	54,854,201	53,745,321
負債純資産合計	91,866,206	90,977,668

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
売上高	22,831,088	23,546,263
売上原価	18,545,311	19,142,876
売上総利益	4,285,777	4,403,387
販売費及び一般管理費	2,953,967	2,901,966
営業利益	1,331,809	1,501,420
営業外収益		
受取利息	5,785	5,391
受取配当金	63,632	70,722
為替差益	—	47,809
その他	27,609	16,564
営業外収益合計	97,028	140,488
営業外費用		
支払利息	46,839	48,752
為替差損	13,314	—
その他	11,121	1,739
営業外費用合計	71,275	50,491
経常利益	1,357,562	1,591,416
特別利益		
固定資産売却益	1,014	2,965
特別利益合計	1,014	2,965
特別損失		
固定資産売却損	417	19
固定資産除却損	21,653	11,725
特別損失合計	22,071	11,745
税金等調整前四半期純利益	1,336,505	1,582,637
法人税等	388,429	380,697
四半期純利益	948,075	1,201,940
非支配株主に帰属する四半期純利益	337,747	352,429
親会社株主に帰属する四半期純利益	610,328	849,510

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
四半期純利益	948,075	1,201,940
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	383,470	△267,359
為替換算調整勘定	△462,400	△963,630
退職給付に係る調整額	22,808	19,280
その他の包括利益合計	△56,122	△1,211,709
四半期包括利益	891,953	△9,769
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	703,423	△7,300
非支配株主に係る四半期包括利益	188,530	△2,469

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	コンパ ウンド	フィルム	食品包材	計				
売上高								
(1) 外部顧客への 売上高	16,007,598	3,385,054	2,521,690	21,914,344	916,744	22,831,088	—	22,831,088
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	54,038	14,089	—	68,127	87,816	155,944	△155,944	—
計	16,061,637	3,399,143	2,521,690	21,982,472	1,004,560	22,987,032	△155,944	22,831,088
セグメント利益又は セグメント損失(△)	1,164,123	11,986	196,790	1,372,900	2,462	1,375,362	△43,552	1,331,809

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、合成樹脂成型品及び電線の製造・販売、また商品の仕入・販売であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失の調整額は、セグメント間取引消去△43,552千円であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成30年4月1日 至 平成30年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	コンパ ウンド	フィルム	食品包材	計				
売上高								
(1) 外部顧客への 売上高	16,526,275	3,582,610	2,453,821	22,562,707	983,556	23,546,263	—	23,546,263
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	63,672	13,537	84	77,294	130,255	207,549	△207,549	—
計	16,589,947	3,596,148	2,453,905	22,640,001	1,113,811	23,753,813	△207,549	23,546,263
セグメント利益又は セグメント損失(△)	1,276,388	129,171	102,822	1,508,382	21,103	1,529,485	△28,065	1,501,420

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、合成樹脂成型品及び電線の製造・販売、また商品の仕入・販売であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失の調整額は、セグメント間取引消去△28,065千円であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。